

1996年の国際千島列島調査

1996年の国際千島列島調査 (International Kurile Island Project: IKIP) の記録を日を追って以下にまとめた。

7月24日

千歳から新潟へ飛行機で移動。夜は新潟市内で軽く一杯やって英気を養う。

7月25日

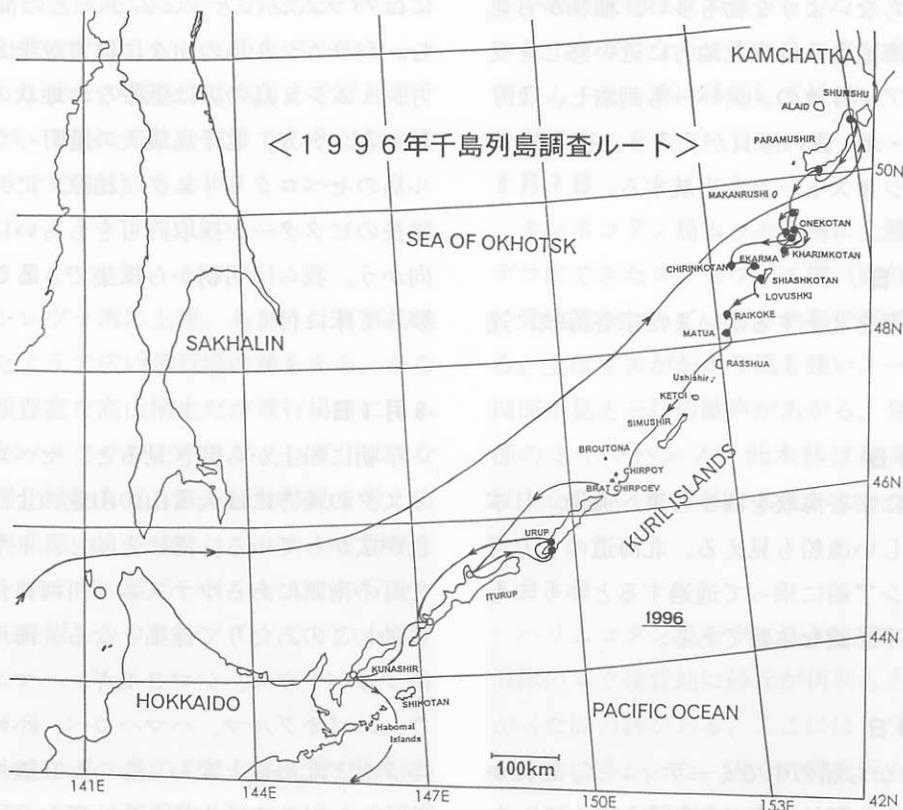
新潟空港を3時半に出発、あつというま

札幌市 高橋 英樹

にウラジオストックだが時差のため針を2時間先に進めるとローカルタイム夕方7時10分にウラジオストック空港に到着。金角港に停泊している調査船オパーリン号に乗り込む。

7月26日

ウラジオストック市内を見物する。展望台わきの道路縁の草地にはクサノオウやイチゲフウロ、エゾオオヤマハコベなどがある。



る。夜は30度と暑くなり寝苦しいくらいであった。

7月27日

市郊外の植物園に行く。植物園といっても野幌の森林公園に植物園が附属している感じである。それでも入場料金3000ルーブル(1円が約50ルーブルとして、約60円)取られた。一緒について来てくれたロシア人ガイドによると採集自由との事。イチヤクソウを採れたのが収穫だった。林道沿いにはノブキが多く、ウマノミツバ、ヤマブキショウマ、トクサ、ミヤマワラビ、クジャクシダなど、攪乱された所にはゴボウやオオバコなどがあるが、属は分かっても種類が分からないような物も多い。植物から見ると北海道よりは東北地方に近い感じを受けた。アメリカのメンバーも到着し、ようやく日・米・露の隊員がそろそろ。夜8時40分ウラジオストックを出航する。

7月28日

日本海を北上するがいまだ宗谷海峡に達せず。

7月29日

昼位に宗谷海峡を西から東へ通過。日本国籍らしい漁船も見える。北海道のすぐ近くをロシア船に乗って通過するというのも何とも不思議な体験である。

7月30日

10時から船の中でミーティング。これからの予定や野外調査での注意がされる。こ

のへんは去年も参加している強みで余裕だが、研究室の配分になると各々なるべく広くてよいところを取ろうとして真剣になってくる。私はヒーターで強制的に乾燥させて植物標本を作るのだが、部屋が暑くなるので皆にいやがられた。それでも何とかヒーターを研究室内に設置でき、標本を作る体制が整った。

7月31日

千島列島域に入ったので、時計の針をさらに1時間先に進める。午前中にパラムシル島の西南でオホーツク海側から太平洋側に回り込み、昼くらいになると船の左にパラムシル島が見え始めた。午後3時くらいにはパラムシルとシュムシュとの間を進む。パラムシル島の山々には雪が映え、一方シュムシュ島の方は低平な台地状の島と見える。夕方、北千島最大の港町パラムシル島のセベロクリリスク(柏原)に到着。隊長のビクターが採取許可をもらいに町へ向かう。我らは明朝から採集できることを夢みて床に付く。

8月1日

早朝に船上から仰ぎ見ると、セベロクリリスクの後方には大雪山の山並のような景色が広がっている。港に上陸し、トラックで町の南側にあるウテスニイ川河口付近に移動しこのあたりで採集となる。海岸砂浜はマルバトウキ、シロヨモギ、ハマエンドウ、エゾオグルマ、ハマハコベ、ハマニクなど北海道と変わらない。丘陵地はミヤマハンノキの低木林となっており所々に



1、パラムシル島セベロクリスク
(1996年8月1日)

小規模な高山草原がある。

8月2日

セベロクリスクを出航してパラムシル島の西南バシレヴァ湾(武蔵湾)に移動。途中ひとときわ近くに迫って見えるパラムシルの山並はすばらしい。船をベースキャンプにしながらの調査では高山まで行き着けないが、千島に来ただけでありがたいことなので文句は言うまい。

8月3日

バシレヴァ湾に上陸。あたりは軍事基地だったようで広い飛行場の跡もある。かなり種類豊富な高山植生だが飛行場跡にはムラサキツメクサやセイヨウノコギリソウなどの帰化植物も見られ、植物移動を考える上で興味深い。午後にはペルナトエ湖畔まで足を伸ばす。結局一日中一人での行動となり、昼飯もカロリーメイトでしのいだ。

8月4日

オンネコタン島の北はジネモ湾(根茂湾)に上陸。ここは館脇先生はじめ多くの研究

者が入った場所でもある。海岸段丘の上までしっかり踏み跡道がついていた。段丘上はツンドラ植生で構造土のようにマウンドしている上にツツジ科のわい性灌木がマット状に広がっている。

8月5日

オンネコタン島アンギビ岬の北に上陸。小溪流沿いの斜面によい高山草原がありチシマルリソウが見事であった。母船への帰りは波が高く危険を感じた。

8月6日

午前9時にボートで出発予定だがうねりが強く上陸中止となる。オパーリン号は1日中海底生物採取のドレッシングをやっている。夕方になってオンネコタン島太平洋側のムッセル湾に移動して投錨。

8月7日

オンネコタン島ムッセル湾に上陸。カルデラにできたコリセヴォエ湖(幽仙湖)まで登山道がついているとの事で皆で出かける。上はガスがかかり風も強い。一瞬だけ湖面が見え一行の歓声があがる。登山道下部のミヤマハンノキ低木林は標高400m以上からハイマツ林におきかわった。

8月8日

ハリムコタン島セヴェルギナ湾に上陸。海岸のすぐ後背地に砂丘が何列もあり干上がった湖の跡がある。ここにはイワブクロが非常に多かった。近くの廃虚近くにはアキタブキの1群があった。パラムシル島で